



大阪+知的障害+地域+おもろい=創造

知の知の知の知

社会福祉法人大阪手をつなぐ育成会 社会政策研究所情報誌通算 4116号 2018.1.2 発行

銀行口座にマイナンバー=登録制度、1月開始=利点乏しく普及未知数



時事通信 2018年1月2日
銀行窓口のモニター画面に映されたマイナンバー登録を呼び掛けるパンフレット=東京都千代田区の三井住友銀行本店

社会保障給付や納税事務に使われるマイナンバーを、銀行や郵便局の預貯金口座に登録する国の制度が1日、スタートした。金融機関が経営破綻した際の預金保護や税務調査などに活用するのが目的。預金者は来店時などにマイナンバーの提供を求められるが、拒否しても罰則はない。預金者のメリットは乏しいとみられ、登録が進むか

はどうかは未知数だ。

マイナンバー制度は、社会保障や税金に関する行政事務の効率化を目指し、2016年にスタートした。生活保護の不正受給や脱税などの防止も期待されている。政府は、預貯金口座に適用範囲を広げ、マイナンバーを使うことで資産状況を調べられるようになれば、こうした効果が高まるとみている。

銀行などは今月から、新規の口座開設や、住所変更の届け出などのため来店した客にマイナンバーの提出を要請する。ただ、登録は義務ではないため、マイナンバーがなくても口座は開設できる。登録しても預金者の利便性が向上するといった利点はない。

一方、マイナンバー制度によって国民の預金が丸裸にされるといった懸念は根強い。政府は「調査に必要な時だけ照会する。すべての預金情報を当局が集めるような仕組みではない」（国税庁）と説明するが、預金者の不安は消えない。

全国銀行協会の平野信行会長は「そもそもマイナンバー制度への国民一般の理解が進んでいるとは思えない」と指摘する。政府は3年後をめどに、登録の義務化も視野に制度を強化する方針だが、国民の理解が得られるか現状では見通せない。



変わる新世界 読売新聞 2018年01月01日

「自分たちの力でもっと変わる可能性を感じる」。
新世界の雑踏の中、楠谷さんは言った=前田尚紀撮影

◇アトリエにぎわい創作

派手な看板が客を誘う「串カツ屋」が軒を連ね、国内外からの観光客が路地を埋める新世界。

ここはかつて、労働者が集まって、立ち飲み屋で酒を酌み交わしながらよもやま話に花を咲かせ、明日の仕事に備える街だった。

人々が放つ喧噪が、賑わいをつくっていた。

「でもある時期、がらーんとして、ほとんど人がいなくなっただですよ」。2000年に新世界で工務店を営む夫と結婚し、この街に来た楠谷美樹さん（47）が教えてくれた。

1990年代、バブル経済崩壊による不景気や建設現場の機械化で、必要とされる建設労働者の数が減った。新世界近くの「あいりん地区」が担った労働者の募集に、ネットや求人広告で直接行う方法が加わった。そして、かいわいに集まる労働者が減った。

楠谷さんが言う。「ここに来て、5年くらいたった頃ですかねえ。商店街はお客さんがいなくなって『シャッター通り』になった。住宅街では、空き家も目立つようになったんです」

楠谷さんの工務店の隣にも空き家があった。夫と「人もおらんし、使い道ないで。買い取って駐車場にでもするか？」と話しあった。だが、美大出の楠谷さんは「自分の気持ちにはあわない」と思った。

若い芸術家たちは創造拠点を欲しているけれど、経済力があるわけではない。幸い、新世界は物価が安く、家賃もぐっと抑えられる。「必ず人は来る」と、隣を改装して12年に始めた貸しアトリエは当たった。常に満室の盛況ぶりだ。

新世界の南側にたくさんある簡易宿泊所（簡宿）も、労働者が減って閑古鳥が鳴いた。2000円もあれば1泊できる手頃さが、外国から格安旅行で来日する「バックパッカー」の目に留まった。通天閣の足元を散策する観光客を目当てに立ち飲み屋から変身した、串カツ屋がどんどん増えた。

楠谷さんの貸しアトリエで「修業」を終えた作家たちは、近くで自分の工房や店を開いた。そこにも観光客がやってくる。店の評判が全国に広がり、また人がくる好循環も生まれた。

外国人観光客に「ファストフード」と人気の串カツ屋に行列ができ、店選びでスマートフォンに額を寄せる姿も路地にある。簡宿のフロントには、英語で接客ができるスタッフもいる。

「18年前『なんというところに嫁にきたんやろ』と思わされた街が、ここまで変わるなんてね。今は、自分たちの力でもっと変えていけるんじゃないかという、期待感でいっぱい」。楠谷さんはしみじみと話す。

新世界の変化だけでも、大阪人をうならせるのに十分なのに、昨春、もっと驚くニュースが飛び込んだ。新世界の西隣にあるJR新今宮駅前の一帯が「リゾート開発」されるという。

70～80年代に大阪市が取得して以来、塩漬けになっていた1・4ヘクタールを、全国でリゾート開発を成功させてきた「星野リゾート」（長野県軽井沢町）が18億円で買い取った。ここに、高級ホテルが建てられるのだ。

「新今宮でリゾート？」「成功するとおもてるん？」——。そんな声に、同社の星野佳路代表は反論する。

「新世界だって、あんなに変わりましたよね」「ここはすごい可能性を秘めてる。ちょっと東に行けば『あべのハルカス』やショッピングモール、きれいな公園もあるじゃないですか」

それに、このあたりは、いくつもの鉄道駅が集まった場所だ。JR大阪環状線、同関西線、南海線、市営地下鉄御堂筋線、同堺筋線の駅では毎日、あわせて27万人ほどが乗り降りする。阪神高速の入り口もすぐそこにある。

関西空港、京都、奈良へどんどん観光客を運べる場所だから、南海電鉄は来日外国人と



地元の人々が交流できる拠点施設を建てる。

新世界の変貌を追い、簡宿の外国人客受け入れや新今宮地区の活性化を支援してきた、阪南大教授の松村嘉久さん（51）は言う。

「楠谷さんのように『もっと変わる』と信じる力を持つ人が幾人もいる。簡宿の経営者らは外国人をもてなす経験を積んで、十分な力を得てきている。この街には、リゾート開発ですら成功させられるだけの可能性が芽生えているんです」（彦坂真一郎）

◇駆ける新時代

ここ数年で、大阪の「国際化」に大きな変化が出てきている。関西空港が国際空港として隆盛し、一昔前には夢物語だった関空アクセス鉄道新線「なにわ筋線」の計画が進み、外国人観光客を当て込んだ未曾有のホテル建設ラッシュが続く。

◇関空 外国客の人波

国際航空路線の中心的存在・ハブ空港になるべく誕生した関空は2000年代に入り苦境の連続だった。

01年9月の米同時テロ、関西経済低迷、03年の新型肺炎（SARS）騒動、08年にはリーマンショック。00年度に開港以来最多の2057万人を記録した旅客数は、09年度に1351万人に落ち込んだ。米国本土や欧州直行便は休止、減便が相次いだ。

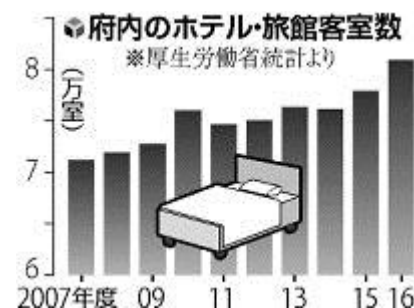
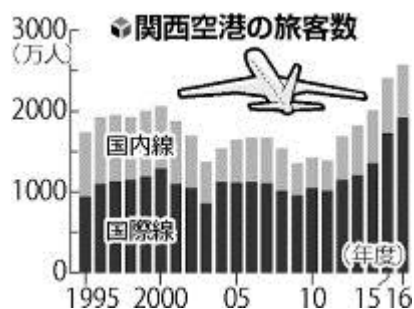
12年度以降は中国人の訪日増に救われ回復、格安航空会社（LCC）の積極誘致も奏功した。LCCは17年冬期で19社が23都市に週481便を飛ばし、国際線定期旅客便の4割に及ぶ。

16年度の旅客数は2572万人を記録。開港翌年度に国際線利用客の18%（165万人）だった外国人客は、16年度に65%（1242万人）になった。

「関西の多様な魅力が外国人を呼び、宿泊施設が増え、さらに人を呼べる好循環が生まれた」。そう語る、運営会社「関西エアポート」の山谷佳之社長は「伸びしろはある」と期待する。

◇客室フル稼働

ホテル建設ラッシュの背景には、中国や東南アジア諸国に対する観光ビザ発給緩和や円安による、来日外国人急増がある。2011年に約218万人だった府内の外国人宿泊者は16年に980万人と4.5倍になり、宿泊施設の全客室で実際に客が利用した割合（客室稼働率）は14年から3年連続日本一だ。



宿泊施設新築で、府内の客室数は14年度から2年間で約5000室増えた。不動産サービス大手「CBRE」（東京）によると、大阪市内だけで17年中に42棟6737室、18年は36棟6653室、19年以降10棟4423室が増える見込みだ。

自治体も宿泊施設の誘致に本腰を入れる。関空のおひざ元泉佐野市は16年、最大1億円の奨励金拠出を盛り込んだ条例を施行。熊取町も同年、土地・建物の固定資産税相当額を7年間交付する助成制度を作った。

日本政策投資銀行関西支店の森下正弥調査役は「ラグビーワールドカップ、東京五輪を控え、宿泊施設新築の余地はある」と話す。

◇鉄道新線 計画続々

関空と大阪都心をつなぐ鉄道新線建設が動き始めた。19

89年（平成元年）に計画推進が決まりながら、バブル経済の崩壊などで頓挫した「なにわ筋線」が、現実のものになる。2031年春の開業予定だ。

JR西日本は96年にJR難波駅（大阪市浪速区）を地下化した際、なにわ筋線建設を見越して駅終端部を同線が地下に走る予定の府道に向けて西に曲げ、延伸可能な構造にしていた。

約30年の足踏み状態を、訪日外国人客の増加が一変させた。府と大阪市、JR西日本、南海電鉄、阪急電鉄は昨年5月に早期事業化で合意。3300億円をかけ、JR大阪駅北側の「うめきた」地下の北梅田駅（仮称）とJR難波駅、南海電鉄の新今宮駅（同西成区）を結ぶ、地下新線を建設することになった。

開業すれば、1時間かかっている梅田-関空間が最速で40分になる。阪急は十三駅から延ばす連絡線でなにわ筋線に乗り入れ、宝塚線では曽根駅（豊中市）から大阪（伊丹）空港への新線計画も打ち出した。

広がるテニス「ニューミックス」 障害者と健常者でペア 福井新聞 2018年1月2日



「国体・障スポの融合は共生社会実現のチャンス」と、車いすテニスの練習を楽しむ竹下輝政さん（右）＝福井県坂井市丸岡運動公園

テニスコートで、車いすと健常者のペアがラケットを構えている。今秋の福井しあわせ元気国体と福井しあわせ元気大会（全国障害者スポーツ大会＝障スポ）の融合を象徴する競技の一つ「車いすテニス」には、障害のある人とない人がペアを組む「ニューミックス」種目がある。「互いを理解し、助け合っのプレーで、仲間意識が芽生え、心が通じ合う」。車いすプレーヤーの竹下輝政さん（63）＝坂井市＝はスポーツから始まる共生社会の実現を思い描く。

日曜の夕方、坂井市丸岡運動公園の屋内テニスコート。県車いすテニス協会所属の選手らが「パコーン」と軽快な打球

音を響かせている。

ニューミックスのルールは明快。健常者は1バウンド以内で、車いす選手は2バウンドまでで返球する。ただしニューミックスは交流が目的。大事なものは「相手を思いやり、楽しむこと。いじわるな返球はダメだよ」と竹下さんは笑う。

ニューミックスは、健常者のプレーヤーにも新たな楽しみを広げている。竹下さんらの練習を昨秋からサポートしている岩崎俊一さん（62）＝坂井市＝は、ペアを組んでみて、車いすの選手のうまさに驚いたという。「声を掛け合っていると、ラリーが長く続くから面白い」。テニス歴約45年の岩崎さんは、これからもっと多くの人とニューミックスを楽しみたいと話す。

車いすテニス以外にもさまざまなスポーツに挑戦してきた竹下さんは、障害者スポーツをサポートしてくれる人たちに感謝しながら「これからは障害者が健常者のクラブに入っって、理解を深めてもらうような積極性も必要なのでは」と感じている。

竹下さんは昨夏、新たな競技に挑戦した。地元坂井市のラージボール卓球クラブ「春江ピンポンの会」に入会し、メンバーからの「車いすは横方向は動かないんか」「靴履いているんだ」といった素直な問い掛けがうれしかったという。「横方向は無理ですね」「足を守るためですよ」。質問に答えながら、クラブのメンバーが障害を理解しようとしてくれたと感じた。

竹下さんは融合を掲げる福井国体・障スポは大きなチャンスと感じている。「何げなく、どんな所にも障害者が常に交ざっているような、そんな社会になるといいね」。大会を契機に福井が変わることに期待をにじませた。

寝屋川監禁死 両親を監禁容疑で再逮捕「数年前から裸に」 毎日新聞 2018年1月2日
 大阪府寝屋川市の自宅で凍死した長女の柿元愛里さん（33）の遺体を放置したとして両親が死体遺棄容疑で逮捕された事件で、大阪府警は2日、父親の工員、柿元泰孝（55）と母親の由加里（53）の両容疑者を監禁と保護責任者遺棄致死の疑いで再逮捕した。監禁は約15年間に及んだとされ、両親は「数年前から裸で生活させていた」などと供述。容疑については否認しているという。

逮捕容疑は「精神疾患の愛里さんが暴れる」などの理由で、2002年ごろから自宅内に間仕切りした2畳の部屋に監禁。昨年1月ごろから急激に痩せて衰弱したのに、全裸で生活させて十分な食事を与えず、病院も受診させずに同12月18日ごろ、栄養失調状態で凍死させたとしている。体重は19キロだった。泰孝容疑者は「監禁ではなく、療養だった。急激に痩せたが、衰弱していたかは分からなかった。私たちに考えて満足する食事を与えていたつもりだ」などと供述。由加里容疑者も「監禁ではない」などと話しているという。

柿元愛里さんの遺体が見つかった自宅。中央の棟で監禁されていたとみられる＝大阪府寝屋川市で2017年12月26日、本社ヘリから猪飼健史撮影



捜査1課によると、一家は1995年ごろ、現在の場所に転居。当初は子供部屋として2畳の部屋を作った。01年に愛里さんは精神疾患と診断されていた。翌年、両容疑者は部屋に簡易トイレや二重扉、監視カメラを設置して監禁を始めたとみられる。

食事は昨年1月ごろから、1日2食から1食に減らしていた。裸で生活させていた理由について両容疑者は「数年前から暑いと言って服を脱ぐので裸にしていた」と説明。室外に置いたヒーターからダクトを通じて暖を取る設備はあったが、温風式ではなく、府警は十分ではなかったとみている。【山田毅、村田拓也】

“#ストロングゼロ文学”？



有馬「缶チューハイですね。アルコール度数が高く、ストロングなのに、プリン体とか糖分がゼロをうたっているんですけど、私



NHKニュース 2017年12月27日
 桑子「みなさん、ご存じでしょうか。『#ストロングゼロ文学』。いま、ツイッターでこのキーワードを使った書き込みが増えているんです。有馬さん、この『ストロングゼロ』はわかりますよね？」



なんか思わず手が伸びちゃうお酒ですよ。」
 桑子「それが“文学”とは、どういうことなのでしょう。」

“ストロング系” 手軽に酔えて大人気
 年の瀬の渋谷。

街のそこかしこで、ストロング系のお酒を手

にする若者の姿がありました。

男性「今日も頑張ったねと、ストロング1本。」

男性「仕事の疲れ、ストレスが吹き飛ぶ、ストロング飲むと。幸せ。」

女性「弱いのはいっぱい飲むよりは、強いのは1本飲んで、ちょっと酔ったくらいが安いし、いいかな。」

アルコール度数が高めで少ない量でも酔える一方、低価格を売りにするストロング系のお酒。

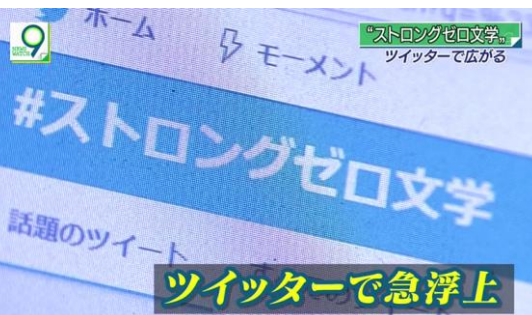
ビールや発泡酒などの販売量が年々減少する中、アルコール度数が8%以上の缶酎ハイなどの市場規模は、この5年で2倍以上に拡大しています。

第一生命経済研究所 永濱利廣さん「同じ酔うのであれば、できるだけ安いコストで酔いたい。時代を象徴するような動き。」

“ストロング文学” ツイッターで広がる

こうして人気が高まる中、今月（12月）に入って、ツイッターで急浮上したのが、「ストロングゼロ文学」というキーワード。

みずからの置かれた状況を、この言葉に寄せて表現する書き込みが、一気に広まったのです。



“胃にジャーッって流し込んだとき将来への不安が少しだけ緩和されるような気がする”

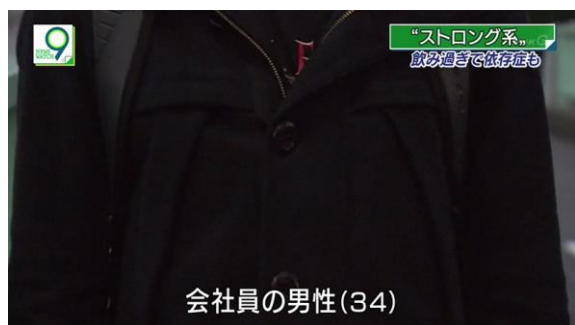
“合うおつまみって何だろう？って考えたけど、悲しみや絶望や孤独だろうという結論に至った”

“誰かと席を並べたり、向き合ったりして飲むような酒ではない気がする。あれは孤独を枕に飲むものだ”

こうした書き込みが、なぜ拡散していったのか。

詩人で社会学者の水無田気流（みなした・きりゅう）さんは、自分たちが抱える不安や孤独感をあえてさらけ出しているところに特徴があると指摘します。

社会学者・詩人 水無田気流さん「ある意味では、ダメな自分を客観的に認めてもらう自己確認の表現。ネガティブな、ちょっとした不安やストレスを吐き出せる、いいツールになっている。不安や孤独を吐露することによって、共感してくれる人がいることへの安心感。誰かに読まれて、見られて、反応してもらわないと自分が存在していないかのような、そういう新しいタイプの孤独感を抱える人たちは増えていると思う。」



“ストロング系” 飲み過ぎで依存症も

ツイッターで広がるストロング系のお酒への共感。

ただ、不安やストレスのあまり飲み過ぎることで、深刻なダメージを負うケースも出ています。

34歳の会社員の男性です。

ストロング系缶酎ハイを大量に飲み続けた結果、アルコール依存症と診断されました。

『アルコール依存症』の男性「ストレスが

あって、次の日の仕事のことを考えると嫌になるので、飲んで酔っ払っている間は、次の日のことを考えなくて済む。だんだん酒の味を楽しむというより、『早く酔っ払って仕事を

忘れたい』と変わってきた。」

ストロング系缶酎ハイ 500ミリリットルに含まれるアルコール量は36g。
これは、強いお酒の代表であるテキーラのショット3.75杯分に匹敵します。
仕事帰りに毎日、コンビニに立ち寄って、ストロング系のお酒を購入していた男性。
多いときには、500ミリリットルの缶を1日8本飲んでいました。

『アルコール依存症』の男性「30分くらいからなくらいで1本空けて、仕事行っている時間と寝てる時間以外は、すべてアルコールを飲んでいる時間。」

次第にアルコールなしでは、仕事も手に付かなくなった男性。

現在は会社を退職しているといいます。

アルコール専門外来の医師は、口当たりも良く、価格も安い気軽さが、依存症を引き起こす要因の1つになっていると指摘します。



アルコール専門外来の医師は、口当たりも良く、価格も安い気軽さが、依存症を引き起こす要因の1つになっていると指摘します。



アルコール専門外来 中田千尋院長「(ストロング系は)自分で意識せずとも、かなりたくさんアルコールを入れていることに。非常に危険、さまざまな臓器障害を起こす可能性もある。ちょっと立ち止まって考えてもらうということ。」

孤独や不安をツイッターに書き込む人たちの“よりどころ”となっているストロング系缶酎ハイ。

社会学者・詩人 水無田気流さん「コンビニに置いてあって、日常と地続き、誰もが手に入りやすく、日常からほんのちょっとの“逸脱”であるところがポイント。思い切った冒険や逸脱が難しくなっている。『安全な範囲でちょっとだけ冒険・逸脱を楽しみたい』、そういう時代の気分が出てきているようにも思う。ダメな部分を容認してくれる場が、それだけ乏しいということではないか。」

“ストロング文学”

有馬「“孤独を枕にして飲む”。ちょっと寂しいんですけど、確かに文学的なつぶやきでしたね。1人で飲む寂しさを、あのようにつぶやいているんだなと思いました。ただ、飲み過ぎには気をつけたいですね。」

桑子「そのとおりですね。水無田さんは“見た目のライトさに反して内実がヘビーだということは自覚した方がいい”ともおっしゃっていました。お酒を飲む機会が多いこの季節、特に注意が必要です。」

新年、日記付け健康生活

中日新聞 2017年12月26日

体重、腹囲、歩数、血圧... 毎日測り「見える化」

健康に生活できる「健康寿命」と平均寿命の差は男性で9年、女性で12年。健康寿命を少しでも延ばすには、健康管理が欠かせない。運動や食事など生活習慣の改善を始められない人は、新年を区切りに、まず日記から始めてはいいか。(小中寿美)

簡単なのは体重や腹囲、歩数を毎日測って記録する方法。体の変化を「見える化」することで健康状態を知ることができ、食事の量に気を付けるなど生活を見直すきっかけにもなる。

日記に書き込んでもよいが、市販されている記録表を使う手もある。1年分の表や健康診断の結果を書き込む表を盛り込んだ「だいじな体 見つめ手帳」(ワイズアップ)の著者

で、薬剤師の中村千鶴子さんは、測定して記録するメリットを「体のリズムを知り、体の発するサインに気づけるようになる」と説明する。

体調不良のときは記録表に症状をメモしよう。製薬会社で消費者の相談に応じていた中村さんによると、いつから症状があるか覚えていない人が多いという。メモすれば受診の際も正しく伝えられる。

血圧計がある場合は自宅でも血圧を測るとよい。血圧は一日の生活の中で大きく変動し、健診で正常でも早朝などに上昇する「仮面高血圧」の人もいるからだ。食事や運動も数値に影響するため、朝食前と就寝前に測定するのがお勧めだ。

自治体が交付する「健康手帳」に記録表が付いている場合もある。富山県高岡市の「エンジョイライフ記録表」や神奈川県海老名市の「技あり！チャレンジ日記」をはじめ、独自に作った記録表をホームページからダウンロードできるようにしている自治体も多い。

失敗 感動 目標 寝る前に「3行」 自律神経を整える効果

「3行日記」の三つのテーマ

月 日()	
① 今日いちばん失敗したこと (もしくは「体調が悪かったこと」「嫌だったこと」)	
② 今日いちばん感動したこと (もしくは「うれしかったこと」)	
③ 明日の目標 (もしくは「いまいちばん関心があること」)	

測定を継続できないという人は「3行日記」を試してみてもよい。提案するのは自律神経に詳しい順天堂大医学部の小林弘幸教授(57)。「日記をつけると自律神経が整い心と体をコントロールできるようになる」と説く。日記を付けることが健康法になるというのだ。

「病気になる、イライラするなど心身の不調は自律神経のバランスの乱れから来る」と小林さん。ストレスの多い現代社会では乱れるのはよくあることだが、「乱れたまま寝るとバランスはさらに悪化する。乱れを日々修正する手段が寝る前に付ける日記」と話す。

自律神経には、心拍数や血圧を上げて戦闘

状態にする「交感神経」と、反対の働きで心身を落ち着かせる「副交感神経」がある。日中の活動時は交感神経が高めに、夜の休息時は副交感神経が高めに働くとバランスがよいが、小林さんによると、大半の人は、バランスが悪い上に副交感神経の数値そのものが低くなっていると考えられるという。

副交感神経の働きを高めるには、寝る前に自律神経をしっかり切り替えることがポイントになる。20年近く試行錯誤して行き着いたのが図のように3テーマを上から順に記す方法だ。たとえばこんな具合。(1)友人にウソをついた、サイテーだ(2)ついに合格、やった! やった! やった!(3)あすこそ6時に起きるぞ

マイナスの感情を吐き出し、よかったことは記憶に刻み、目標を具体化して意識付けする。書き方は「できるだけ簡潔に、手書きでゆっくりと」。続けるためには「『毎日欠かさず』と気負わない。空欄が増えてしまったらスケジュール帳を見返して、その日したことを書くだけでもいい」。

記すのが体調でもよい点は中村さんの意見と一致する。総合診療科で診察も担当する小林さんは「2週間続く症状があったら受診して」と助言している。

月刊情報誌「太陽の子」、隔月本人新聞「青空新聞」、社内誌「つなぐちゃんベクトル」、ネット情報「たまにブログ」も

